

2 充実した人生を送るための生涯学習の推進

- 1 家庭教育推進事業
- 2 青少年健全育成事業
- 3 俳句教室開設事業
- 4 各種団体育成指導事業
- 5 成人式開催事業
- 6 市美術展開催事業
- 7 音楽鑑賞会開催事業
- 8 音楽教室開催事業
- 9 舞台芸術鑑賞事業
- 10 男女共同参画推進事業
- 11 学校文化施設開放事業
- 12 文化財保存調査事業
- 13 ネブタ流し継承事業
- 14 ディスカバー「滑川」ふれあい事業
- 15 文化・スポーツ振興財団活動助成
- 16 ふれあいのバス派遣事業
- 17 社会教育活動総合事業
- 18 郷土芸能活性化事業
- 19 心豊かなまちづくり推進事業
- 20 地区公民館活動推進事業
- 21 地区公民館整備事業
- 22 図書館管理事業
- 23 図書館運営事業
- 24 子ども図書館管理運営事業
- 25 本とのふれあい推進事業事業
- 26 博物館管理事業
- 27 博物館運営事業

- 28 展覧会等開催事業
- 29 子ども科学教室開催事業
- 30 青志会館管理運営事業
- 31 働く婦人の家管理運営事業
- 32 青雲閣管理運営事業
- 33 浜加積地区公民館整備事業

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 391

事業名	家庭教育推進事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
基本施策	(4) 青少年健全育成の推進		項 04 社会教育費
施策名	①家庭教育力の向上		目 01 社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	子どもをもつ親
---------	---------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	家庭教育の大切さを伝え理解してもらい、子育てでの悩み等を話し合うことで、自信をつけたり、家庭教育に積極的に参加してもらったりする。
------------------	---

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	家庭教育の大切さを伝え、理解してもらうことを目的とした「子育て講座」を小学校に入学する児童の保護者を対象に開催した。また、学習参観日等に講師を派遣し、保護者を対象に「親を学び伝える学習プログラム」を利用したグループワークを取り入れた「親学び講座」を小中学校で開催した。平成24年度から幼稚園・保育園等から希望する園で「親学び講座」を実施している。
-----------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
親学び・子育て講座参加者数	人	目標	/	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績	1,589	2,171	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援・親学び講座開催数	回	計画	/	20	20	20	20
		実績	20	20	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			167	150	226	226	226
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		167	150	226	226	226
人件費(B)		745	733	/	/	/	
合計事業費(A+B)		912	883	/	/	/	

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	近年核家族化、児童虐待問題等で家庭教育の必要性は高まっており、行政が主体となり実施すべき事業である。
有効性	高い	新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちも従来の生活様式からの変化が求められている。慣れない環境にストレスを感じる子供達も多く、情報交換は有意義である。
効率性	やや低い	以前は、親学び講座を教室形式で実施できていたが、昨年度はアンケート形式での開催となったため、親学びリーダーや市教委の負担が大きかった。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

今後の子育て講座や、親学び講座の参加者の増加や開催内容、方法を検討していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、開催方法について検討している。ワールドカフェ方式や親子での参加など引き続き開催方法を工夫する。
新年度の改革・改善案	

その他

全保護者を対象としたアンケート形式による親学び講座を開催したため、参加者自体は多くなったが、非効率であり書面開催を継続していくことは難しい。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 393

事業名	青少年健全育成事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
基本施策	(4) 青少年健全育成の推進		項 04 社会教育費
施策名	②健全育成活動の推進		目 01 社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	児童、生徒、青少年
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	滑川市の青少年が、犯罪に巻き込まれず安全に、健全に成長していくよう、地域で連携して見守っていく。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
少年補導件数	件/年	目標	/	/	/	/	/
		実績	22	29	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	少年補導センター、青少年育成滑川市民会議などの団体と連携し、挨拶運動や体験活動を行って行く中で、青少年の健全育成を図った。少年補導センターは、犯罪や非行の抑止力として街頭の巡回補導を行った。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
補導員活動日数(延べ)	回	計画	/	150	150	150	150
		実績	159	94	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			270	203	333	333	333
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		270	203	333	333	333
人件費(B)			745	733	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,015	936	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、必要な事業である。
有効性	高い	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、有効な事業である。
効率性	やや高い	最低限の費用で活動を行っており、費用対効果の面では問題はない。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

巡回補導の参加率を上げることが必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	巡回補導の開催時期や内容を検討している。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行により、樺原神社の出店が中止になるなど、活動に影響あった。また、外出機会の減少から、夜中に出歩いている青少年の数も減少したが、引き続き青少年が犯罪や非行に走らないよう活動をしていくことが必要である。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 394

事業名	俳句教室開設事業		担当部署	生涯学習課	
将来像	ひとが元気		予算科目	会計	01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり			款	10 教育費
基本施策	(6) 芸術・文化の振興			項	04 社会教育費
施策名	① 芸術・文化普及活動の推進			目	01 社会教育総務費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して	小中学生及び全市民
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	俳句文芸の継承と振興を図り、「香り高い文化のまちづくり」を目指す。
------------------	-----------------------------------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
俳句教室参加者数	人	目標	/	30	30	30	30
		実績	46	22	/	/	/
根拠							
俳句ポスト投句数	句	目標	/	7,500	7,500	7,500	7,500
		実績	7,480	7,720	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①俳句大会の開催 俳句公募コンテストの実施 講演会の開催</p> <p>②小中学生俳句教室の開催 俳句についてのお話 作った俳句の鑑賞</p> <p>③俳句ポストの設置 毎月入選句を選び、「広報なめりかわ」に掲載 上半期・下半期の優秀句作者の表彰</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
俳句大会開催数	回	計画	/	1	1	1	1
		実績	1	1	/	/	/
俳句教室開催数	回	計画	/	1	1	1	1
		実績	1	1	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			79	80	88	88	88
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		79	80	88	88	88
人件費(B)			186	183	/	/	/
合計事業費(A+B)			265	263	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	地域文化の継承・振興のために必要である。
有効性	やや低い	事業や活動の内容については適切であるが、より広い層の参加が必要である。
効率性	やや高い	必要最低限のコストで事業を行っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

毎月の広報に投句された俳句を掲載しているのは県内でも本市のみであり今後も継続していくべき取り組みであるが、投句者の固定化が目立つことから、より多くの市民に裾野を広げる必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	広報誌だけでなくHPやSNSを活用し、事業の周知や作品の紹介を検討する。
新年度の改革・改善案	
その他	

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	渡辺 雄星
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 395

事業名	各種団体育成指導事業		担当部署	生涯学習課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	基本施策	(4) 青少年健全育成の推進		項 04 社会教育費
	施策名	②健全育成活動の推進		目 01 社会教育総務費
根拠法令等				

事業の対象

誰・何に対して	滑川市連合婦人会・滑川市児童クラブ連合会
---------	----------------------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	団体の積極的な活動を促すよう補助することで、地域コミュニティの醸成や新たな担い手の育成を促す。
------------------	---

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	地域コミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に活動費を助成した。
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
連合婦人会会員数	人	目標	/	100	100	100	100
		実績	101	101	/	/	/
根拠							
児童クラブ連合会会員数	人	目標	/	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,656	1,652	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
助成した社会教育団体数	団体	計画	/	2	2	2	2
		実績	2	2	/	/	/
コスト(千円)							
事業決算額・計画額(A)			R1	R2	R3	R4	R5
			320	174	320	320	320
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		320	174	320	320	320
人件費(B)			435	367	/	/	/
合計事業費(A+B)			755	541	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	コミュニティの希薄化により、社会教育団体の役割は増しており、どちらも営利目的の団体ではないため、助成することは必要である。
有効性	やや高い	連合婦人会の会員数は横ばい、児童クラブ連合会は児童数減少に伴い、会員数が減ってきているが、活動をサポートすることは有効であり、どちらも活発に活動している。
効率性	やや高い	直接各団体へ補助金を支給しており、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

連合婦人会では、新規加入者が少なく、会員の高齢化や次世代の担い手の不足が懸念される。
児童クラブ連合会では、児童数減少に伴う会員数の減少が続いている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	コロナ禍における活動の在り方について検討している。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、総会や研修会等の人が集まる行事について、従来のような活動ができなかった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 396

事業名	成人式開催事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(2) 学校教育の充実	項	04 社会教育費
施策名	②小・中学校教育内容の充実	目	01 社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	新成人
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	新成人一人一人を祝福し、成人となった自覚を促すとともに、滑川市への愛着を育む。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
参加率	%	目標	/	91	80	80	80
		実績	80	69	/	/	/
根拠 第4次総合計画後期基本計画							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	新たに成人を迎える若者の前途を祝福するとともに、新成人の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために成人式を実施した。引き続き滑川に住み、心豊かに暮らしてもらえよう、成人のしおりに滑川市の魅力を掲載した。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
周知回数(案内状含む)	回	計画	/	6	6	6	6
		実績	6	6	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			656	808	659	659	659
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源			656	808	659	659	659
人件費(B)			1,056	1,039	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,712	1,847	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	新成人を祝い、社会人としての自覚を促すことは必要である。
有効性	高い	毎年1月の3連休の中日に開催し、遠方の方にも参加しやすいよう配慮している。
効率性	高い	内容については、新成人の実行委員会でも話し合い、必要最低限の経費で行われている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、直接会場に来られない新成人や保護者らのために、生配信等の実施について検討が必要である。令和4年4月の成人年齢の引き下げに伴い、今後の対象年齢や名称等について検討が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	県内各市町村の動向を踏まえ、R5年の式典を二十歳の集いとして1月に開催を検討している。
新年度の改革・改善案	密を避けるため、引き続き成人式の様子を配信する。

その他

新型コロナウイルス感染症の流行だけでなく、成人式当日の大雪により、成人式の開催が危ぶまれたが、無事に開催することができた。今後は不測の事態に対応できるよう、様々な状況を想定して準備しておく必要がある。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 397

事業名		市美術展開催事業	担当部署	生涯学習課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり	款 10	教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興	項 04	社会教育費
	施策名	① 芸術・文化普及活動の推進	目 01	社会教育総務費
根拠法令等				

事業の対象

誰、何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	美術を通じて市民の情操を豊かに育てるとともに、優秀作家を育成し、本市の芸術・文化の向上を図る。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
入場者数	人	目標	/	800	800	800	800
		実績	597	728	/	/	/
根拠							
出品者数	人	目標	/	150	150	150	150
		実績	142	131	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>・高校生以上の全市民、在勤者、在学者、出身者等を対象とした、日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門にわたる公募展を開催した。</p> <p>・市民等の創作作品を展覧することによって、「香り高い文化のまち」を目指し、芸術・文化の振興に努めた。</p> <p>・富山県を代表する作家に審査員を委嘱し、審査会・講習会等を通じて優秀作家の育成を図った。</p>
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
広報活動回数	回	計画	/	5	5	5	5
		実績	5	6	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			577	584	597	597	597
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		577	584	597	597	597
人件費(B)			869	855	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,446	1,439	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	「香り高い文化のまちづくり」を標榜する本市にとって、市民芸術の創作発表・鑑賞の場を提供することは、市が主体となって継続的に実施する必要性が求められる。
有効性	やや高い	事業内容については適切であるが、部門によっては出品者の高齢化等による減少が見られる。人材の育成等についても検討していく必要がある。
効率性	やや高い	昨今の社会情勢から受付時間の拡大等によって従事時間の増加が見られたが、事務改善を図り効率的な運用を試みている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

出品数が少ない部門については、統合等の具体的な措置を講じる時期にきている。また、出品者の増加を図るため、部門によっては高校生をはじめとした若年層への働きかけや周知を行っていく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	出品者数が減少している日本画部門を洋画部門と統合し、「絵画部門」を新設する。来館者の増加を図るため、効率的な広報手段を検討する。
新年度の改革・改善案	部門新設による賞金配分等の見直し。

その他

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、出品受付の分散化を図るため、受付日数を2日間から4日間に増加させて対応した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	近藤 浩二
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 398

事業名	音楽鑑賞会開催事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	施策名	①芸術・文化普及活動の推進		目	01 社会教育総務費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して	市内音楽団体・全市民
---------	------------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	芸術文化の振興を目的として全市民的に活動を行っている音楽団体の支援を行う。 豊かな心の育成及び表現力、感受性の向上を目指し、親子向けの音楽鑑賞会を開催する。
------------------	---

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	年1回開催される定期演奏会の開催を支援するため、補助金を交付した。 「光のコンサート」特別ゲスト等による親子を対象としたコンサートを実施した。 市内の小・中学校、高校の吹奏楽部員を対象に一流の音楽家によるクリニックを実施し技術の向上を図った。 親子の音楽鑑賞会の来場者が増えるよう、チラシや広報、ホームページで周知するなど、PRを行った。
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
入場者数	人	目標	/	150	400	400	400
		実績	418	314	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
補助金交付団体数	団体	計画	/	2	2	2	2
		実績	2	1	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			288	213	332	332	332
財源内訳	国県支出金		/	/	/	/	/
	地方債		/	/	/	/	/
	その他		3	3	1	1	1
	一般財源		285	210	331	331	331
人件費(B)			435	428	/	/	/
合計事業費(A+B)			723	641	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市の芸術文化振興のため、音楽団体に助成を行うほか、音楽鑑賞会を開催することは必要である。
有効性	やや低い	市民の間では定着したイベントとなっており、有効である。
効率性	高い	助成金については最低限の額である。また、親子で楽しむ素晴らしい音楽の世界は、限られた予算の中で、一流の音楽家を招聘するコンサートであり効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

一人でも多くの方に会場へ来場してもらいたいが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、演奏会への入場者数を制限する必要がある、そのバランスが難しい。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	演奏会については、PR方法を見直す等により、会場に見合った来場者数となるよう調整している。また、Net3の放送により、当日来られなかった方にも、素晴らしい音楽を届けることとしたい。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、毎年6月に開催していた光のコンサートが中止となり、ゲスト演奏者による親子音楽会への参加もできなくなった。その代わりに、感染防止対策を実施しながら、11月に著名な演奏家を招いてピアノのコンサートを実施した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 399

事業名	音楽教室開催事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	会計	01
基本施策	(6) 芸術・文化の振興	款	10
施策名	①芸術・文化普及活動の推進	項	04
根拠法令等		目	01
			社会教育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市内小・中学生
---------	---------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	専門家の指導を受けることで演奏技術を向上させたり、プロの演奏を生で聞くことで豊かな感性を育んだりする。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
音楽教室参加者数	人	目標	/	800	800	800	800
		実績	843	525	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	各小中学校において講師を招き、音楽教室を開催した。小学校においては、児童を対象とした音楽鑑賞会や実技指導を実施した。中学校においては、吹奏楽部員を対象とした講習会を実施した。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
音楽教室実施回数	回	計画	/	9	9	9	9
		実績	11	9	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			220	180	270	270	270
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		220	180	270	270	270
人件費(B)			435	428	/	/	/
合計事業費(A+B)			655	608	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	音楽を通して子供の豊かな心を育むため、必要である。
有効性	高い	大会で優秀な成績を収める等、成果が上がっている。
効率性	高い	最低限の講師謝礼のみの予算で実施しており、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

音楽教育や演奏技術の向上に資するよう内容や講師の工夫に努める。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	講師の人選について検討している。
新年度の改革・改善案	

その他

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 400

事業名	舞台芸術鑑賞事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	施策名	① 芸術・文化普及活動の推進		目	01 社会教育総務費
根拠法令等	舞台芸術鑑賞事業助成金交付要綱				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
新川文化ホールでの大規模な舞台芸術等の公演を多くの市民に鑑賞していただく。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
助成件数	件	目標	/	150	150	150	150
		実績	/	89	/	/	/
根拠							
新能参加数	人	目標	/	/	300	300	300
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
新川文化ホールでの大規模な舞台芸術等の鑑賞チケット代を助成した。
多くの方に鑑賞いただけるよう魅力的な公演を複数指定した。
助成制度や公演を市民にPRした。
文化・スポーツ振興財団が開催する新能に協力した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
公演指定回数	回	計画	/	2	2	2	2
		実績	/	2	/	/	/
新能開催数	回	計画	/	/	1	1	1
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)				178	1,900	1,900	1,900
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			178	1,900	1,900	1,900
人件費(B)			124	122	/	/	/
合計事業費(A+B)			124	300	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	市民が一流の舞台芸術に触れ合う機会となることから必要である。
有効性	やや高い	鑑賞チケット代を割安で購入できることから、多くの方に喜ばれている。
効率性	やや高い	市民による助成申請の窓口は新川文化ホールであり、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・廃止の検討	

事業の課題

より多くの人が舞台芸術を鑑賞できるよう、指定公演を増やす。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	令和3年度は新川文化ホールの3公演を指定した。令和2年度に引き続き新能を開催し、子どもの鑑賞者を増やすため小学校でワークショップも開催する予定である。
新年度の改革・改善案	

その他

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 401

事業名	男女共同参画推進事業	担当部署	生涯学習課
将来像	まちが元気	予 会計	01 一般会計
政策	3 協働と信頼のまちづくり	算 款	10 教育費
基本施策	(4) 人権尊重と男女共同参画社会の推進	科 項	04 社会教育費
施策名	②男女共同参画社会の実現	目 目	01 社会教育総務費
根拠法令等	男女共同参画基本法、滑川市男女共同参画計画 ~第3次ときめき かがやき ひかりのプラン~		

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	滑川市男女共同参画計画に基づき、「ともに認め合い、支え合う、ひかり輝く社会の実現」を総合目標とし、男女共同参画推進事業を実施する。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
家庭生活において男女平等になっていると感じる人の割合	%	目標	/	33	34	35	36
		実績		28	/	/	/
根拠							
地域活動において男女平等になっていると感じる人の割合	%	目標	/	29	30	31	32
		実績		17	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画推進員による啓発活動を実施した。</p> <p>②男女共同参画に関する意識啓発と計画の周知のため、男女共同参画公開講座を実施した。</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
推進活動取組回数	回	計画	/	3	3	3	3
		実績		3	/	/	/
コスト(千円)							
事業決算額・計画額(A)			R1	R2	R3	R4	R5
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		735	618	778	778	778
人件費(B)			1,056	1,039	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,791	1,657	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	今後の日本社会が発展するために、男女共同参画社会の実現は必須である。
有効性	やや高い	男女ともに、男女の役割についての意識が変わりつつある。
効率性	やや高い	啓発活動は、各地区の連絡会へ委託しており効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

事業の課題	事業の内容については、現在のような各地区に委託を中心としたやり方で良いか、検討していく必要がある。
-------	---

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	今後の連絡会の在り方や、活動内容について検討している。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、男女共同参画推進員を招集することができず、各地区での活動開始時期が10月以降となり、活動に支障が出た。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 402

事業名	学校文化施設開放事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	施策名	③生涯学習環境の充実		目	01 社会教育総務費
根拠法令等	滑川市生涯学習センター条例、滑川市立学校施設の開放に関する規則				

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市民の生涯学習活動の支援を行うため、生涯学習センター・地域交流センターの開放を行う。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
生涯学習センター利用者数	人	目標	/	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績	1,809	1,130	/	/	/
根拠							
地域交流センター利用者数	人	目標	/	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	2,018	2,147	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	学校が使用していない夜間、休日の施設管理をシルバー人材センターの会員に委託した。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
生涯学習センター開放日数	日	計画	/	360	359	359	359
		実績	359	334	/	/	/
地域交流センター開放日数	日	計画	/	360	359	359	359
		実績	359	334	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			416	212	371	371	371
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		416	212	371	371	371
人件費(B)			435	428	/	/	/
合計事業費(A+B)			851	640	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	生涯学習の振興のため、施設の有効活用は市民のニーズに合っており、必要性が高い。
有効性	やや高い	無料で施設を利用できることから人気があり、利用者にとって有益である。
効率性	高い	事業費は開放作業の委託料のみであり、コストは最小限に抑えられている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

生涯学習のための施設という趣旨を明確にして、今後も利用促進を図る。また、利用者が利用しやすい環境の整備に努める。

今後の方向性

成果の方向性	拡大	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	早月中学校の音楽室の網戸の設置や、空調の点検等を実施している。
新年度の改革改善案	生涯学習センターでは、トイレの洋式化を行い、高齢者が利用しやすい施設となるよう整備する。

その他

新型コロナウイルス感染症の流行により、音楽団体の利用が一時的に難しい状況となった。しかし、早月中学校音楽室への網戸の導入、夏の空調点検及び、施設の消毒等の感染症対策等の徹底により、感染予防に努め、継続して利用できるように配慮した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 403

事業名	文化財保存調査事業		担当部署	生涯学習課	
将来像	ひとが元気		予算科目	会計 01	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04	社会教育費
施策名	③文化財の保護と活用		目	01	社会教育総務費
根拠法令等	文化財保護法、滑川市文化財保護条例、同施行規則、滑川市文化財保護調査委員会設置規則				

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市民共有の財産である文化財を永く保存、継承していくとともに、新たな文化財を掘り起こし、市民に周知し積極的に活用していく。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
指定・登録等文化財件数	件	目標	/	53	53	53	53
		実績	52	52	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①指定文化財他への指定等 市文化財保護調査委員会・同調査審議会の開催</p> <p>②市有文化財の保存・管理 史跡・天然記念物</p> <p>③市民への文化財の啓発及び活用</p> <p>④開発に伴う埋蔵文化財の調査</p> <p>⑤文化財の掘り起こし 古建築調査ほか</p> <p>⑥立山黒部ジオパークの周知</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市文化財保護調査委員会の開催	回	計画	/	1	2	2	2
		実績	1	1	/	/	/
市文化財調査審議会の開催	回	計画	/	1	1	1	1
		実績	1	1	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,239	928	3,169	880	1,980
財源内訳							
		国県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	1,239	928	3,169	880	1,980
人件費(B)			2,049	2,016	/	/	/
合計事業費(A+B)			3,288	2,944	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	文化財は市民共有の財産であり後世へ確実に継承していく必要があることから、既に指定・登録されている文化財の広報・普及や新たな文化財の掘り起こしを要する。
有効性	やや高い	文化財の保存・管理、調査・研究を行うとともに、各文化財が持つ歴史的価値を広く周知することで、市民の郷土愛を育むことができる。
効率性	やや高い	市指定文化財等については適切に執行している。文化財の掘り起こしについては、古建築調査を通して測量等を実施しているが、古建築以外の文化財を対象とする調査も必要である。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

市内文化財については重要性の高い文化財から順に指定・登録の必要性を議論する必要がある。また文化財の掘り起こしについては古建築調査を実施中であるが他分野の調査も考慮していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	市内文化財については、文化財保護調査委員会や文化財調査審議会を開催して新たな指定・登録を議論していく予定である。また文化財の掘り起こしについては、古建築調査を引き続き実施するほか、開発による滅失等も勘案しながら新たな分野の文化財調査についても検討していく。指定外の文化財についても案内板の設置について、補助事業等の活用を検討する。
新年度の改革・改善案	市内文化財の保存・管理を確実に実施しながら、文化財の掘り起こしについては、他分野の調査も念頭に置いて検討していく。また新たに指定・登録された文化財をはじめ、新規発見されたものも含めて、調査・研究の成果を展覧会等で市民に周知できるよう努める。文化財活用計画策定の検討を進めるとともに、登録文化財制度の活用について検討する。

その他

--

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	盛田 拳生
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 404

事業名	ネブタ流し継承事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	施策名	③文化財の保護と活用		目	01 社会教育総務費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して

全市民、ネブタ流し保存会及び参加団体

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)

国指定重要無形民俗文化財の保存継承のために、市民と行政が一体となって方策を講じ、推進していく。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ネブタ流し参加基数	基	目標	/	12	12	12	12
		実績	12	4	/	/	/
根拠							
寺家小学校児童参加者数	人	目標	/	40	40	40	40
		実績	48	-	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

- 保存継承団体の組織強化
主体的活動の運営支援と補助金の交付
ネブタ流し参加団体への新規参加促進
- 担い手育成・普及活動
寺家小学校での製作伝習活動
- 団体間の交流
研修会等の開催
- ネブタ流しの材料の確保
ワラの確保

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ネブタ流し 広報活動回数	回	計画	/	6	6	6	6
		実績	6	7	/	/	/
		計画	/				
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			288	158	294	294	294
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		288	158	294	294	294
人件費(B)			1,180	1,161	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,468	1,319	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	本市唯一の国指定重要無形民俗文化財である滑川のネブタ流しを次代へ継承するため、保存会をはじめとする実施団体への補助は必要である。
有効性	やや高い	保存会の組織力を補うべく事務局を運営し、補助金の交付や必要な材料の確保を行っている。また担い手育成・普及活動も実施しており、参加基数は増加傾向を見せている。
効率性	やや高い	保存会の事務局運営を行政が担っている一方で、新規加入団体は増加しており、多様化と活況を見せつつある。さらに組織力を強化すべく事務局を漸進的に自主化していく動きも望まれる。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

滑川のネブタ流しを次代へ継承するため、保存会等への補助をはじめ寺家小学校への伝習活動支援を継続する必要がある。また保存会の組織力増強を図り、加入団体増加へ向けた取り組みも必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	滑川のネブタ流しの継承に向けて保存会等への補助、保存会事務局の運営を行っている。また寺家小学校での伝習活動を支援するほか、保存会の新規加入団体増加へ向けた呼びかけもを行っている。
新年度の改革・改善案	保存会への新規加入団体が増加しているなか、保存会の組織力増強を図るとともに、事務局機能の漸進的な自主化を促すべきか検討を重ねる。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により参加基数の大幅な減少が見込まれた結果、有志を中心とする4基で実施する運びとなった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	盛田 拳生
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 405

事業名	ディスカバー「滑川」ふれあい事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(3) 生涯学習の推進	項	04 社会教育費
施策名	③生涯学習環境の充実	目	01 社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して	全小中学生
---------	-------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	地域と連携しながら、ふるさと滑川を普段とは異なった視点で見つめることにより、郷土を愛し、主体的に判断し行動する能力を身に付ける。
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①学校地域交流事業では、市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収等のボランティア活動や、あいさつ運動、地域の方々とふれあう活動を通して、相手を思いやる心を育むことを目指した。</p> <p>②小中学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験活動を実施することで、滑川市のよさを再発見してもらった。</p> <p>③郷土偉人の業績を学ぶことができる行事を開催した。</p> <p>④子供たちの代表が一堂に会し、滑川市の将来について意見交換を行う「子どもサミット」を開催することで、滑川市をよりよくしようという主体的な態度を養った。</p>
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位	R1	R2	R3	R4	R5
ふるさと探検事業参加者数	人	目標 100	実績 61	100	100	100
根拠						
		目標				
		実績				
根拠						

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位	R1	R2	R3	R4	R5
ふるさと探検事業開催日数	日	計画 4	実績 3	4	4	4
		計画				
		実績				
コスト(千円)		R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)		790	663	776	776	776
財源内訳						
国県支出金						
地方債						
その他						
一般財源		790	663	776	776	776
人件費(B)		1,056	1,039			
合計事業費(A+B)		1,846	1,702			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	ふるさと滑川を愛する心を涵養するために必要である。
有効性	やや高い	事業参加者には、ふるさと滑川を深く知ってもらうよい機会になっている。
効率性	高い	学校や各施設の協力のもと市が直接実施している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を減らして事業を実施していることから、以前では定員に達しない事業であっても、今はすぐに定員に達してしまい、参加できない方がいる。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	事業の実施時期や内容を見直し、可能な限り参加してもらえる方法を検討している。
新年度の改革・改善案	令和2年度に引き続き、子どもサミットを滑川市議会議場で開催した上で生放送を実施し、多くの市民が視聴できるようにする。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、春のホタルイカ解剖教室が中止となり、食育教室も翌年の3月まで延期となった。子どもサミットでは実施時期を12月25日に変更し、会場も滑川市議会議場へ変更して実施した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 406

事業名	文化・スポーツ振興財団活動助成	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項 04 社会教育費
施策名	① 芸術・文化普及活動の推進		目 01 社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
文化・スポーツ振興財団、全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市民の芸術文化の振興のため、文化・スポーツ振興財団に助成する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
公演等参加人数	人	目標	/	4,390	4,390	4,390	4,390
		実績		1,419	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

滑川市文化・スポーツ振興財団が実施する自主・協賛事業に対し、助成を行った。各公演の周知や運営等、公演の開催にあたり、協力した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
公演回数	回	計画	/	14	14	14	14
		実績		6	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)				1,638	10,000	10,000	10,000
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,638	10,000	10,000	10,000
人件費(B)				244	/	/	/
合計事業費(A+B)				1,882	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	チケット収入だけでは公演の経費が賅えないことから必要である。
有効性	高い	各種、魅力的な事業を実施している。
効率性	高い	財団へ補助金という形で支出しており、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

コロナ禍でイベントを行う場合、会場の収容人数の半分程度となり、事業収入が減少してしまうことから、補助金への依存度が高くなる。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	より魅力的な公演を実施したり、他の補助金等も併用してもらうなどして、市の負担が減るように工夫してもらう。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの事業が中止となった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 407

事業名	ふれあいのバス派遣事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり	款	教育費
基本施策	(4) 青少年健全育成の推進	項	社会教育費
施策名	②健全育成活動の推進	目	社会教育総務費
根拠法令等			

事業の対象

誰・何に対して
市内の小学生

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
滑川市の将来を担う児童が、姉妹都市豊頃町の雄大な自然と人々の暮らしに接し、互いの郷土のよさを紹介し合うことで、友情と相互理解を深めるとともに、郷土への愛着を育む。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
ふれあいのバス事業では、豊頃町の児童宅にホームステイを行い、豊頃町の児童と一緒に豊頃町の自然や文化に接することで、姉妹都市との絆を深めた。また、体験を通して、滑川のよさを再認識できるように、交流会前後に事前・事後学習を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	人	目標	/		20		20
		実績					
根拠							
		目標	/	20			
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	回	計画	/		1		1
		実績					
		計画	/				
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)					2,473		2,473
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他				1,000		1,000
	一般財源				1,473		1,473
人件費(B)				244			
合計事業費(A+B)				244			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	姉妹都市との交流は重要であり、北海道の雄大な自然に触れる機会は貴重であり、子供たちの将来の財産となる。
有効性	やや高い	豊頃町と滑川市の互いの良さを学ぶことにより、滑川の良さを再発見するとともに、認め合う心等も学び、互いの絆が深まる。
効率性	やや高い	豊頃町の皆さんの協力により成り立っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域間交流が難しい状況にあり、直接会えなくても交流できる方法を検討していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	なかなか直接交流ができない状況にあり、オンライン交流等の方法を検討している。
新年度の改革・改善案	引き続き、令和4年度に小学生を派遣できるよう準備を進める。

その他

令和2年度に児童を豊頃町へ派遣し、令和3年度に豊頃町の児童を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期されることとなった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 411

事業名		社会教育活動総合事業	担当部署		生涯学習課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	施策名	①生涯学習活動の推進		目	02 公民館費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	いつもで、どこでも、誰もが、自ら気軽に学び続け、学んだことを生かして地域で活躍するなど、生涯学習を通じた生きがいや喜びを育む。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
生涯学習講座登録者数	人	目標	/	850	850	850	850
		実績	839	628	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①各分野で活躍中の郷土ゆかりの講師を招き、市民が最新情報に触れることができ、郷土愛を育むことができる講座を開催した。</p> <p>②生涯学習センターを中核として、60歳以上の方々がふれあいを通し、自らの生活の中に生きがいを見いだせる教養講座やレクリエーション教室、野外活動教室等を開催した。また、一般市民向けに書道、油絵、陶芸、詩吟の実技講座を開催した。</p> <p>③市民向けに生涯学習に関する便りを発行し、全戸配布することで、生涯学習活動の紹介等の広報活動を行った。</p> <p>④情報を集め、新しい講師の人材発掘に努めた。</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
福寿大学開催日数	日	計画	/	20	20	20	20
		実績	20	12	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,164	1,105	1,437	1,437	1,437
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,164	1,105	1,437	1,437	1,437
人件費(B)			435	721	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,599	1,826	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	どの事業も生涯学習の充実のために必要である。
有効性	やや高い	各世代に対応した各種講座や講演会を定期的に開催したり、情報紙を定期的に発行したりしており、有効である。
効率性	高い	最低限の講師謝礼と印刷費等の予算であり、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

福寿大学では男性の参加者数を、ふるさと市民大学では各回の参加者数を増加させる工夫が必要である。
また、福寿大学はコロナ収束までは、密を避けるために、市民交流プラザで開催する必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	受講者のニーズに合わせ魅力的な内容になるよう努めている。
新年度の改革・改善案	感染対策も検討し、市民交流プラザで実施する。

その他

福寿大学では高齢者が対象となることから、密を避けるために、会場の変更を行った。また、開催回数を半分に減らすなど予算を工夫して執行している。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 412

事業名		郷土芸能活性化事業	担当部署	生涯学習課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項 04 社会教育費
	施策名	①芸術・文化普及活動の推進		目 02 公民館費
根拠法令等				

事業の対象

誰・何に対して	全市民、保存団体及び後継者(小中学生)
---------	---------------------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	地域に伝承される郷土芸能育成保存の姿勢から、関係団体と連携を図り、行政が一体となり、保存伝承の方策を講じる。
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①保存継承団体の運営支援、補助金を交付した。</p> <p>②後継者育成のために、小中学生対象の伝習活動を実施した。</p> <p>③発表会等の実施支援を行った。</p>
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
舞踊の伝習会	回	目標	/	30	30	30	30
		実績	30	30	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
伝習訪問校	校	計画	/	9	9	9	9
		実績	9	9	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,224	607	732	732	732
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,224	607	732	732	732
人件費(B)			993	977	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,217	1,584	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	どの事業も生涯学習の充実のために必要である。
有効性	やや高い	各世代に対応した各種講座や講演会を定期的で開催したり、情報紙を定期的に発行したりしており、有効である。
効率性	高い	最低限の講師謝礼と印刷費等の予算であり、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	C

事業の課題

踊りだけでなく、唄、三味線も伝承されるよう支援が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	授業で、踊りの伝承を行っており、音楽で三味線の体験学習に取り組む学校もある。
新年度の改革・改善案	小学校のクラブ活動で「郷土芸能クラブ」を作り、踊りだけでなく、唄、三味線も伝承されるように支援することを検討する。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、ふるさと龍宮まつりが中止となり、貴重な発表の機会である街流しをすることができなかった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 413

事業名	心豊かなまちづくり推進事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
基本施策	(3) 生涯学習の推進		項 04 社会教育費
施策名	②公民館活動の促進		目 02 公民館費
根拠法令等	滑川市公民館条例		

事業の対象

誰・何に対して

全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)

①世代間の交流を促進し、地域の絆や教育力の向上を図る。
②ふるさと滑川の自然・歴史・文化に対する理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育む。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
「ふるさと講座」参加者数	人	目標	/	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	1,915	1,506	/	/	/
根拠		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

①地区公民館において、地域の人材を生かして多世代のふれあい活動及び各種教養教室を実施した。
②各地区公民館において、様々な年代が一緒に参加でき、地元の自然、文化、歴史を学ぶ「ふるさと講座」を実施した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ふるさと講座実施回数	回	計画	/	18	18	18	18
		実績	22	15	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,350	1,120	1,350	1,350	1,350
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,350	1,120	1,350	1,350	1,350
人件費(B)			435	428	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,785	1,548	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	ふるさと滑川について、身近な地区公民館を通して学ぶ機会であり必要である。
有効性	高い	地元の歴史や文化に触れ、ふるさと滑川の良さを再発見するよい機会である。
効率性	高い	各地区公民館へ事業を委託しており、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあり、今後も新しい生活様式に合わせた事業のあり方を検討する。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	参加人数の適正化や事業内容の検討を進めている。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、当初計画していた様々な事業に影響があり、中止や延期、内容の変更など多大な影響があった。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 414

事業名	地区公民館活動推進事業		担当部署	生涯学習課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
	施策名	②公民館活動の促進		目	02	公民館費
根拠法令等	社会教育法 滑川市公民館条例					

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	地区公民館を中心とした地域コミュニティの形成を推進するため、多世代のふれあい活動、各種講座等の地域における公民館活動を支援する。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
地区公民館利用者数	人	目標	/	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	83,587	54,162	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①地区公民館において、公民館まつり、住民運動会、各種レクリエーション、講座等の実施</p> <p>②地区公民館の管理にかかる費用の支出</p> <p>③地区公民館実施事業参加者及び公民館職員に対する保険の加入</p>
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
コミュニティづくり推進事業取組件数	回	計画	/	45	45	45	45
		実績	72	64	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			23,968	26,778	29,000	29,000	29,000
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		23,968	26,778	29,000	29,000	29,000
人件費(B)			1,056	1,039	/	/	/
合計事業費(A+B)			25,024	27,817	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	地区公民館を中心としたコミュニティの形成は近年重視されており、必要である。
有効性	高い	市民のニーズに応じた内容になるように心がけており、有効である。
効率性	高い	コミュニティづくり推進事業は、地区公民館へ委託しており、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、地区公民館における様々な行事に影響が出たところである。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、事業を推進していく。また、コロナ禍に対応した新たな試みとして、ICTを活用した公民館活動を、今後調査研究していく。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	各地区からの相談に答え、適切に情報提供を行っている。 全国公民館連合会や富山県公民館連合会での研修をもとに、ICTの活用について研究している。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、公民館の臨時休館をすることとなった。また予定していた行事の、中止や延期、内容の変更など多大な影響があった。さらに、新型コロナウイルス感染防止対策のために新たな手間やコストが発生した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 415

事業名		地区公民館整備事業	担当部署		生涯学習課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	施策名	②公民館活動の促進		目	02 公民館費
根拠法令等		社会教育法 滑川市公民館条例			

事業の対象

誰・何に対して	各地区公民館
---------	--------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	地区公民館の整備に努め、快適に利用して頂けるよう、整備・修繕を行う。
------------------	------------------------------------

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	公民館より要望を聞きとり、順次必要な修繕を行った。
-----------------------	---------------------------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
整備実施件数	件	目標	/	40	40	40	40
		実績	23	25	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
要望聞き取り件数	件	計画	/	40	40	40	40
		実績	40	40	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,430	1,830	12,680	400	18,400
財源内訳	国庫支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,430	1,830	12,680	400	18,400
人件費(B)			1,056	1,039	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,486	2,869	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	地区公民館を安全・正常に利用していただくために必要である。
有効性	高い	施設が老朽化している中で、施設を維持管理するためには、非常に有効である。
効率性	低い	少ない予算で対応することから、危険性や緊急性だけでなく、他の公民館とのバランス等を総合的に勘案し、厳選して採択する外、実施に当たっては様々な工法を検討し、費用対効果を比較検討して選定するため、修繕完了までにかかりの時間を要する場合が多い。また、緊急性を要しても、危険性がない場合は、年度当初においては、そもそも通年で状況が見通せないことから、修理等を保留する場合もある。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

各地区公民館では、施設だけでなく設備も老朽化が進んでおり、限られた最小限の予算の中で対応している。予算の都合により、各地区からの改善要望に応えられない部分もあり、基本的には壊れたものを直す対応となっている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	各地区公民館では、突然故障する可能性があることから、予算を柔軟に活用する。
新年度の改革・改善案	市民が安心安全に公民館を利用できるよう、各地区の要望を聞き、整備に努める。

その他

中加積地区公民館でシロアリ被害が悪化し補正予算にて対応する事があった。施設の破損については、緊急性を見極めるとともに、将来的な視点で悪化する前に対策費用が大きくなるように早めに対応していく必要がある。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 419

事業名	図書館管理事業		担当部署	生涯学習課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
	施策名	③生涯学習環境の充実		目	03	図書館費
根拠法令等						

誰・何に対して
全市民

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
来館者数	人	目標	/	120,000	120,000	130,000	150,000
		実績	120,375	95,337	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の目的と達成度
意図(対象をどのようにしたいか)
利用者が、図書館を快適に安心して利用できるよう、適切な施設管理を行う。

事業の内容と活動量
手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
館内をこまめに巡回し、蔵書や備品等の整理・整頓に努めるとともに、来館者に快適な利用を促した。清掃、消毒、換気を徹底し、衛生管理に努めた。施設の修理工事を迅速に進めた。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
開館日数	日	計画	/	278	297	297	297
		実績	298	278	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			13,038	18,657	13,484	13,484	16,984
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源			13,038	18,657	13,484	13,484	16,984
人件費(B)			4,036	5,474	/	/	/
合計事業費(A+B)			17,074	24,131	/	/	/

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	生涯学習施設として、市民が安心して利用できるよう整備を続けることが必要である。
有効性	やや高い	維持管理について、少ない経費でできるよう努めている。
効率性	やや高い	省エネルギー化に努めているところである。

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題
館内設備の故障箇所が多く、順次修繕を行っている。

今後の方向性

成果の方向性	拡大	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	換気を強化するため、窓の留め金具修繕を行っている。
新年度の改革・改善案	

その他

評価者	妻木 朋子	担当係長	作成者	魚瀬 健一郎
-----	-------	------	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 420

事業名	図書館運営事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	02 教育費	
基本施策	(3) 生涯学習の推進	03 社会教育費	
施策名	③生涯学習環境の充実	04 図書館費	
根拠法令等			

事業の対象

誰に対して	全市民
-------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	より利用しやすく親しみやすい図書館を目指し、利用者の増加を図るとともに、市民の生涯学習を推進する
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①来館者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫茶コーナーのPR ミニコンサートの開催 <p>②利用者の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズに合わせた資料の充実、コーナー設置 リクエストの積極的対応(資料購入、相互貸借) レファレンス能力の向上、図書館サービスの周知 電子書籍、読書通帳の導入等、より親しんでもらえるようなサービスの提供
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市民1人あたりの貸出冊数	冊/人	目標	5	10	5	6	7
		実績	5	4			
根拠 第4次総合計画後期基本計画							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
リクエストサービス	冊	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	878	759			
レファレンスサービス	件	計画	50	50	50	50	50
		実績	13	6			
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			16,885	18,284	15,602	15,602	15,602
財源内訳	国県支出金			327			
	地方債						
	その他		625	1,180	680	680	680
	一般財源		16,260	16,777	14,922	14,922	14,922
人件費(B)			6,209	7,845			
合計事業費(A+B)			23,094	26,129			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	法的位置づけがされており、生涯学習の推進、情報収集、読書文化の向上のために一定の役割がある。
有効性	やや高い	貸出冊数など、成果目標達成のためにより細やかなサービスが必要である。
効率性	やや高い	省資源化など、コスト削減に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

市民1人あたりの貸出冊数、利用者数が伸び悩んでいる。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	青少年向け図書を積極的に購入する等、若年層の利用者増に取り組んでいる。
新年度の改革・改善案	

その他

--

評価者

評価責任者	妻木 朋子	担当係長		作成者	魚瀬 健一郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 421

事業名		子ども図書館管理運営事業	担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04 社会教育費
	施策名	③生涯学習環境の充実		目	03 図書館費
根拠法令等		滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則			

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	子どもたち・保護者に一層親しまれる子ども図書館を目指し、利便性を向上させ利用者の増加を図る。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
来館者数	人	目標	/	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績	34,565	26,155	/	/	/
根拠							
授業に必要な図書の利用冊数	冊	目標	/	600	600	600	600
		実績	574	573	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	子ども図書館は、すべての子供に読書の喜びと大切さを伝える場として、より多くの子供たち・保護者に親しまれ、利用していただけるよう、積極的にPRし、利用者の増加を図った。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
出張おはなし会・出前講座	回	計画	/	10	10	10	10
		実績	12	12	/	/	/
蔵書数	冊	計画	/	36,000	36,000	36,000	36,000
		実績	34,724	35,919	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			7,450	8,273	7,657	7,657	7,657
財源内訳	国県支出金			327			
	地方債						
	その他		100	650			
	一般財源		7,350	7,296	7,657	7,657	7,657
人件費(B)			6,209	8,383	/	/	/
合計事業費(A+B)			13,659	16,656	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	図書館は社会教育機関という位置づけがされており、市民の生涯学習や情報収集の場として不可欠である。
有効性	高い	本を通じた親子のふれあいの場、子育て支援施設として役割を果たすこととなり有効である。
効率性	高い	必要最低限のコストでの運営に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

コロナ禍の影響もあり、来館者数が前年度に比べ減少しており、本を通じた親子のふれあいの場として、より魅力的な施設になり、更なる貸出冊数の増加に繋がるようPRが必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	より子供たち・保護者に親しまれる子ども図書館を目指し、出張おはなし会、出前講座等を実施しPRに努め、利用者増加に繋がるよう取り組んでいる。また、学校を通じて図書利用カードを作成し、登録者数増加に繋げている。
新年度の改革・改善案	

その他

コロナの影響で4/24~5/10の間、休館を余儀なくされ、来館者数、貸出冊数が減少した。また、再開後もコロナ対策としてイベント参加者数も制限しているため、イベント参加者数も減少した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	横田 亜希子
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 422

事業名	本とのふれあい推進事業		担当部署	生涯学習課	
将来像	ひとが元気		会計	01	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
施策名	③生涯学習環境の充実		目	03	図書館費
根拠法令等	滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
市内の子どもたち(主に乳幼児~中学生)とその保護者

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
子どもと親が集い交流する場として、にこにこたいむ(ふれあいあそび)、子育て支援講座、おはなし会、ワークショップ等、本を通じた子育て支援事業を実施し、出産・育児をしやすい環境を整える。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援講座・おはなし会等イベント参加者数	人	目標	/	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	8,348	4,653	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

- 子育て支援
 - ・子育て支援講座(年5~6回)
 - ・子育て相談 子ども図書館職員(保育士)が対応
- イベント開催
 - ・おはなし会(週1~2回)(職員・ボランティア) 絵本・紙芝居の読み聞かせ
 - ・子ども映画会(月1回) DVDの上映(職員・ボランティア)
 - ・おたのしみ会(年3回程度) 人形劇・ミュージカル等
 - ・工作コーナー(毎週土日)
 - ・読書週間イベント(年2回)
 - ・ワークショップ
 - ・作品展示 市内保育園(所)・幼稚園児、中高生の作品を展示
 - ・ブックスタート事業(4か月検診時絵本のプレゼント)

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援講座開催回数	回	計画	/	6	6	6	6
		実績	7	6	/	/	/
各種イベント開催数(おはなし会・おたのしみ会・ワークショップ等)	回	計画	/	230	230	230	230
		実績	252	206	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			502	661	638	638	638
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		33	30	30	30	30
	一般財源		469	631	608	608	608
人件費(B)			7,451	8,969	/	/	/
合計事業費(A+B)			7,953	9,630	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	子育て支援を行う施設の柱として本を通じた子育て支援事業を実施する事は重要である。
有効性	高い	子供たちが本と親しむ様々なイベントを企画し実施している。
効率性	高い	必要最低限のコストでの運営に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

コロナ対策として、イベント参加者数を制限している為、参加者数が減少している。コロナ禍での工夫をしながら様々なイベントを企画し参加者増加に繋げる。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	コロナ禍の為、感染症予防対策を取りながら従来のイベントに加え、図書館ツアー等の新たなイベントも企画している。コミュニティ助成事業を活用し絵本作家によるワークショップ&講演会を開催する。
新年度の改革・改善案	

その他

コロナの影響で4/24~5/10の間、休館を余儀なくされ、やむを得ず中止としたイベントがある。また、再開後もコロナ対策としてイベント参加者数を制限しているため、必然的にイベント参加者数も減少した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	横田 亜希子
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 424

事業名	博物館管理事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	施策名	①芸術・文化普及活動の推進		目	04 博物館費
根拠法令等	博物館法、滑川市立博物館条例、同施行規則				

事業の対象

誰・何に対して	全市民、博物館施設
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市民が安全かつ快適に博物館施設を利用できるようにする。
------------------	-----------------------------

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①施設の維持 電気・水道・燃料等 設備の保守点検等</p> <p>②不具合箇所の修繕</p>
-----------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
博物館利用者数	人	目標	/	17,500	15,000	15,000	15,000
		実績	14,152	7,815	/	/	/
根拠 第4次総合計画後期基本計画							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
開館日数	日	計画	/	303	305	302	307
		実績	308	288	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			12,600	13,897	10,575	10,575	10,575
財源内訳	国県支出金		/	/	/	/	/
	地方債		/	/	/	/	/
	その他		/	/	/	/	/
	一般財源		12,600	13,897	10,575	10,575	10,575
人件費(B)			1,552	1,527	/	/	/
合計事業費(A+B)			14,152	15,424	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	本市の芸術文化活動振興の拠点となる施設であり、必要不可欠である。
有効性	やや低い	現状、設備維持に必要な最低限の修繕しか行っていない。
効率性	やや高い	可能な限り業務委託を行い効率化を図っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

建物の築年数が約30年となっており、建物内設備に要改修・修繕箇所が多い。トイレの故障が発生し、修繕が必要となっている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	限られた予算の中、利用者の安全に関わる部分を優先して修繕を行う。設備が全体的に古く、修繕用部品の供給が終了しており設備取替となるなど修繕費用が高くなる場合もあるため、故障する前の部品交換等も検討し該当箇所の洗い出しを行う。
新年度の改革・改善案	

その他

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止・縮小等により博物館利用者数が著しく減少した。非接触型体温計・自動センサー消毒機の購入や各部屋への消毒薬の設置等により感染防止に努めている。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	渡辺 雄星
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 425

事業名	博物館運営事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(6) 芸術・文化の振興	項	04 社会教育費
施策名	①芸術・文化普及活動の推進	目	04 博物館費
根拠法令等	博物館法、滑川市立博物館条例		

事業の対象

誰・何に対して

全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)

美術・芸術団体等の成果を発表する機会の提供及び博物館の企画展以外の事業(教育普及・広報活動・調査研究等)を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
常設展・共催展入場者数	人	目標	/	7,000	7,000	7,000	7,000
		実績	6,746	4,603	/	/	/
根拠							
教育普及活動参加人数	人	目標	/	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	2,920	1,329	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容、目的達成に向けた取組み)

- 常設展の運営
- 各種共催展等の開催
- 教育普及活動
出前講座(小学校等)、出講等講師派遣(一般)
- 広報活動
- 資料・作品の受け入れ
- 博物館カフェの運営
- 夕焼けコンサートの開催
- 博物館友の会活動

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
美術協会・各連盟展の開催数	回	計画	/	5	5	5	5
		実績	6	2	/	/	/
出前講座・出講等講師派遣回数	回	計画	/	19	19	19	19
		実績	31	17	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			2,666	2,224	2,661	2,661	2,661
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		221	236	300	300	300
	一般財源		2,445	1,988	2,361	2,361	2,361
人件費(B)			2,918	2,871	/	/	/
合計事業費(A+B)			5,584	5,095	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の芸術・文化活動の成果発表の場として必要性が高い。郷土文化や歴史の調査研究や教育普及活動についても継続的に行っていく必要がある。
有効性	やや低い	共催展の規模を維持するとともに積極的な広報活動を行い、より多くの市民の来場を促す必要がある。
効率性	やや高い	限られた人員の中で、ある程度効率的に運営している。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

共催展において、各協会・連盟の会員数の減少や高齢化により運営への支障や規模縮小するものが出てきており、入場者数も減少傾向にある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	共催展においてはポスターや目録等の印刷を博物館が行うなど協会・連盟の負担を減らすほか、SNSを活用し積極的に広報活動を行い来場者の増加を図る。また、ミュージアムカフェのさらなる周知や新メニュー検討により、来場者数の底上げを図る。
新年度の改革・改善案	

その他

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止・縮小等により、共催展入場者数・教育普及活動参加人数が著しく減少した。入場者や事業参加者への手指消毒啓発等により感染防止に努めている。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	渡辺 雄星
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 426

事業名	展覧会等開催事業		担当部署	生涯学習課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(6) 芸術・文化の振興		項	04 社会教育費
	施策名	① 芸術・文化普及活動の推進		目	04 博物館費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	郷土の歴史や芸術・文化活動に関する興味・関心と理解を深めるため、郷土資料や優れた美術作品等に触れる機会を広く市民に提供することで、博物館活動に関心と理解を持っていただく。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
企画展入場者数	人	目標	/	5,200	5,200	5,200	5,200
		実績	3,889	3,064	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①本市の文化資源を調査し、新たな魅力を再発見し、紹介し、記録する展示会を実施した。 ②学芸員の専門性や調査成果、市民ニーズ等を反映した企画展の開催。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
企画展開催数	回	計画	/	4	4	4	4
		実績	6	7	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			3,642	1,241	2,703	2,703	2,703
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		1,826				
	一般財源		1,816	1,241	2,703	2,703	2,703
人件費(B)			5,899	5,804	/	/	/
合計事業費(A+B)			9,541	7,045	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	「香り高い文化のまちづくり」の拠点施設として、優れた芸術作品等の展覧、地域の歴史や文化を紹介していく企画展を市が主体となって継続的に行っていく必要がある。
有効性	やや高い	地域の芸術・文化活動を推進し、広く市民に伝えていく役割があるが、年によって入場者数にばらつきがある。効率的な広報活動や内容の検討によって、有効性を向上させていく必要がある。
効率性	やや高い	県内の類似機関と比較しても、事業費、企画展開催数等から効率性は低くないと判断される。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

調査・準備期間を確保するため、中期的な事業計画を立案すべきである。企画展に対する満足度は高いようだが、入場者数は目標値に届いていない。市民ニーズを汲み取るとともに、広報手段の充実等、工夫が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	年度内に企画展の中期計画を立案する。 夏に行われる東京五輪等のスポーツイベントに合わせた企画展を開催し、相乗効果を狙う。また、SNSを活用して市内外に向けて広く発信を行う。
新年度の改革・改善案	当該年度のメイン展示を「特別展」(原則1回)、他を「企画展」(原則2回以上)として開催する。 周年等の記念事業に合わせて大きな企画展を開くために、前年等の事業費(予算要求額)を抑え、翌年に事業費を増やすなど弾力的な対応を取れないか検討する。地域の先人に関する展示資料について調査する。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響から、企画展中の臨時休館、企画展自体の延期を行った。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	近藤 浩二
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 427

事業名	子ども科学教室開催事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	会計	01
基本施策	(6) 芸術・文化の振興	款	10
施策名	① 芸術・文化普及活動の推進	項	04
根拠法令等		目	04

事業の対象

誰・何に対して	小中学生及び保護者
---------	-----------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室参加者数	人	目標	/	250	250	250	250
		実績	254	192	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	ふるさとに自然に親しむと同時に、子供の探究心を育むため、自然観察やモノづくりを体験する機会を設ける。
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①自然観察教室の開催 【初級コース】植物探検にいこう! 川であそぼう 【上級コース】化石教室</p> <p>②天文教室の開催</p> <p>③ロボットセミナーの開催(補助)</p>
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室実施回数	回	計画	/	10	10	10	10
		実績	10	10	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			229	219	394	294	294
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		229	219	394	294	294
人件費(B)			1,428	1,405	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,657	1,624	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	科学・理数・ものづくり教育を推進し、科学の時間を実施している本市において、実地教育の場を提供することは、人材育成を図る上でも必要である。
有効性	やや高い	身近な自然や天文現象を学べる希少な機会を提供できている。しかし一部の教室では実施内容の固定化もみられるため、より多様な事業実施に向けた変化も望まれる。
効率性	やや高い	教室実施ごとに参加者からアンケートを取り改善を図っているため、おおよそ効率的な運営ができていると思われる。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

参加者の満足度は高いものの、需要の変化に対応していく必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で教室の募集定員を制限する場合もあるが、多くの参加を見込めるような内容づくりが望まれる。実施内容が固定化しないよう、必要に応じて実施場所の見直し等を行うことで参加者数の増加を目指す必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	縮小	投入コスト	減額
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	教室実施ごとにアンケートを実施しており、参加者の声をくみ取ることで次回の教室をより魅力的なものに出来るよう努めている。
新年度の改革・改善案	科学の時間と連携し、学校の活動と関連した企画を進める。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集定員の人数を例年より少なく設定する必要が生じた。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	近藤 浩二	作成者	盛田 拳生
-------	-------	------	-------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 429

事業名	青志会館管理運営事業	担当部署	生涯学習課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(3) 生涯学習の推進	項	04 社会教育費
施策名	③生涯学習環境の充実	目	05 社会教育施設費
根拠法令等	滑川市地域交流センター条例		

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	青志会館は、市民が仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学んだりするための施設であり、また学童保育の実施場所となっている。たくさんの方に利用していただけるよう施設の整備や活動の支援を行う。
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	従来からある各種教室やサークルの運営を維持し、新規の教室・サークルの募集を随時行った。気軽に施設を利用していただけるよう、周知した。
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
利用者数	人	目標	/	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績	9,585	7,644	/	/	/
根拠		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教養教室・サークル開講数	教室	計画	/	6	6	6	6
		実績	7	6	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			4,758	2,146	2,974	2,224	2,224
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		4,758	2,146	2,974	2,224	2,224
人件費(B)			128	3,055	/	/	/
合計事業費(A+B)			4,886	5,201	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学んだりすることができる施設のため必要である。
有効性	やや高い	館内は、会議室、和室、調理室、多目的ホールがあり幅広い活動ができる。
効率性	高い	学童保育が実施されており、地域の社会教育施設として、生涯にわたる利用が期待できる。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

子供からお年寄りまで幅広い年齢層に利用される施設であることから、施設の安全面について点検、維持管理に努める必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	施設の事故対策に努める。
新年度の改革・改善案	修繕が必要な箇所は、確実に修繕し、安全安心で利用できるようにする。

その他

--

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長		作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 430

事業名	働く婦人の家管理運営事業		担当部署	生涯学習課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
	施策名	①生涯学習活動の推進		目	05	社会教育施設費
根拠法令等	滑川市働く婦人の家条例					

事業の対象

誰・何に対して
働く女性及び勤労者家庭等の主婦

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
必要な知識・技能の取得や教養・憩い・レクリエーション等について場と機会を提供し、生活の向上や福祉の増進を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
働く婦人の家利用者数	人	目標	/	13,000	13,000	13,000	13,000
		実績	11,241	7,793	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
ゆったりヨガ、コーラス、手芸等の各種講座を開催した。
新しい講師の発掘を行った。
働く婦人の家まつりを実施し、館内での作品展示を行った。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教養教室開講数	教室	計画	/	18	20	20	20
		実績	18	18	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			6,651	4,311	4,838	4,417	4,417
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		6,651	4,311	4,838	4,417	4,417
人件費(B)			745	3,422	/	/	/
合計事業費(A+B)			7,396	7,733	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	毎年様々な教室を開催しており、依然として利用者から求められている施設である。
有効性	やや高い	受講者のニーズに応じた講座内容となるように心がけており、有効である。
効率性	高い	多くの講座を、格安の講師謝礼で実施しており、経費の削減に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休止の検討	B

事業の課題

学び続けたい意欲のある方の育成・自主グループの活動も熱心に行われているが、受講生の固定化が見られるものもあり、新規の受講者を取り込む工夫が必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	新たな講座の開設に向けて、定期的に教養講座を開催している。
新年度の改革・改善案	

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月の教養教室が休講となった。また、コロナにより働く婦人の家まつりの開催が危ぶまれたが、受講者の貴重な学習発表の場であることから、ステージ発表や展示内容を工夫して開催することができた。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 431

事業名	青雲閣管理運営事業		担当部署	生涯学習課	
将来像	ひとが元気		予算	会計	01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
施策名	③生涯学習環境の充実		目	05	社会教育施設費
根拠法令等	地方自治法第244条の2第3項 滑川市東福寺野自然公園研修センターの設置及び管理に関する条例				

事業の対象

誰・何に対して	全市民
---------	-----

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	東福寺野自然公園研修センター青雲閣を市民の生涯学習の拠点としての機能を充実させる。また、平成25年度から指定管理者制度の導入により、(一財)滑川市文化・スポーツ振興財団を管理者とし、事業の継承・利用拡大を図っている。
------------------	--

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	東福寺野自然公園研修センター青雲閣を管理し運営した。小中学校や企業等の団体向けに宿泊利用の営業活動を行ってもらい、利用率を上げるよう努めた。周辺施設を含めた利用方法を提案し、リピーター増を目指した。ホームページを利用して周知を図った。
-----------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
施設利用者数(宿泊・日帰り)	人	目標	/	4,000	5,000	5,000	5,000
		実績	4,925	851	/	/	/
根拠 第4次総合計画後期基本計画							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
開館日数	日	計画	/	359	358	358	358
		実績	359	333	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			21,023	22,329	21,522	21,522	21,522
財源内訳	国県支出金		/	/	/	/	/
	地方債		/	/	/	/	/
	その他		/	/	/	/	/
	一般財源		21,023	22,329	21,522	21,522	21,522
人件費(B)			128	122	/	/	/
合計事業費(A+B)			21,151	22,451	/	/	/

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	青少年の健全育成を図ると共に、心豊かに学ぶ生涯学習の場として必要である。
有効性	やや低い	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者数が大きく減少している。
効率性	やや高い	東福寺野自然公園や不永掛遺跡公園等と併せて利用でき、幅広く活用できる施設となっている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

施設の建て替えに向けて、運用方法を検討する。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	利用者増に向けてサービス、料金の見直しを検討する。
新年度の改革・改善案	改策について検討する。

その他

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が激減し、施設の運営に支障が出ている。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	大茂 孝二郎
-------	-------	------	--------	-----	--------

事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 1

事業名	浜加積地区公民館整備事業		担当部署	生涯学習課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1. 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(3) 生涯学習の推進		項	04	社会教育費
	施策名	②公民館活動の促進		目	02	公民館費
根拠法令等	社会教育法 滑川市公民館条例					

事業の対象

誰・何に対して	浜加積地区公民館
---------	----------

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	老朽化した浜加積地区公民館を改築し、快適に利用して頂けるよう新たな公民館の整備を行う。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
設計完成	件	目標	/	1	/	/	/
		実績		1	/	/	/
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	現在の浜加積地区公民館を解体し、新たな浜加積地区公民館を建築するため設計を委託した。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
改築工事	件	計画	/		1	/	/
		実績				/	/
コスト(千円)							
事業決算額:計画額(A)				2,099	112,541		
財源内訳	国県支出金				22,740		
	地方債				69,000		
	その他 一般財源				2,099	20,801	
人件費(B)				672			
合計事業費(A+B)				2,771			

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	老朽化した浜加積地区公民館の改築は必要である。
有効性	高い	住民が快適に公民館を利用できるようになる。
効率性	高い	老朽化した浜加積地区福祉センターと統合されて、一つの施設になることから、施設運営の効率性が図られる。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

新公民館の運用方法を検討する。 福祉センターの利用者への対応について協議する必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	公民館側と福祉センター側が話し合い、より良い運用方法の確立に努める。
新年度の改革・改善案	

その他

当初、浜加積地区公民館を改修及び増築する方針が伝えられていたが、急きょ施設全てを建て替える方針に変更となったことから、実施設計の完了までに時間と手間を要した。

評価者

評価責任者	地崎 紀子	担当係長	大茂 孝二郎	作成者	山崎 弘樹
-------	-------	------	--------	-----	-------

